

議事要旨(5) 収益認識専門委員会における検討状況について

冒頭、逆瀬副委員長（専門委員長）より、収益認識専門委員会において、IASBから公表されているディスカッション・ペーパー「顧客との契約における収益認識に関する予備的見解」に対するコメントを検討している旨が説明された。引き続き豊田主任研究員より、当該ディスカッション・ペーパーについてコメントすべきポイントの説明が行われた。

説明の後、内容を確認するための質疑応答が行われ、委員からは次のような発言があった。

- ・ 契約資産と契約負債をネットで捉え、その減少が収益であるという考え方が理解できない。契約資産と契約負債のネットの変動から導かれる収益はどのような意味を持つのか。
- ・ 概念的にはこのようなアプローチがあり得るのは理解できるとしても、実務に与える影響も併せて考えていかなければならないのではないか。できるだけ幅広いケース・スタディがあると理解しやすいし、議論もしやすい。概念レベルで分かりやすいロジックに統一できたとしても、実務レベルでの統一が可能かどうかは別問題。実務レベルでの統一可能性あるいは現行実務に与える影響ということを知らずして概念レベルでの結論は出せないだろう。

これらの意見を踏まえ、引き続きコメントについて検討を行うこととされた。

以上